



CHAPTER 5

Cisco 呼詳細レコードのフィールドの説明

この章では、現行の CDR 内にあるすべてのフィールドを CDR 内での出現順に定義します。この章の構成は、次のとおりです。

- 「CDR フィールドの説明」 (P.5-1)
- 「外部コール制御のルーティング原因値」 (P.5-21)
- 「関連項目」 (P.5-22)
- 「関連資料」 (P.5-22)

CDR フィールドの説明

表 5-1 に、現行の CDR 内にあるすべてのフィールドをその出現順に説明します。

表 5-1 CDR フィールドの説明

フィールド名	値の範囲	説明
cdrRecordType	0、1、2	<p>このフィールドは、レコードのタイプを定義します。適用される有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 0：開始呼詳細レコード（未使用）• 1：終了呼詳細レコード（CDR）• 2：CMR レコード <p>デフォルト：CDR の場合、このフィールドは常に 1 になります。</p>
globalCallID_callManagerId	正の整数	<p>このフィールドは、一意の Cisco Unified Communications Manager ID を示します。</p> <p>グローバル コール ID は、globalCallID_callId と globalCallID_callManagerId の 2 つのフィールドから構成されます。</p> <p>同じ 1 つの標準コールに関連付けられるすべてのレコードは、同じグローバル コール ID が設定されます。</p> <p>デフォルト：このフィールドは常に設定されています。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
globalCallID_callId	正の整数	<p>このフィールドは、各コールに割り当てられる一意のコール ID 値を示します。システムは、この ID を各コール サーバ上で別々に割り当てます。各値は、コール開始時に連番で選択されます。成功または不成功に関係なく、各コールには値が 1 つ割り当てられます。Cisco Unified Communications Manager は、再起動時にファイル内の現在の globalCallID_callId 番号を確認し、その値に 1000 を加えた番号を次の GlobalCallID_callId に割り当てます。詳細については、「グローバル コール ID」(P.3-2) を参照してください。</p> <p>グローバル コール ID は、[globalCallID_callId] と [globalCallID_callManagerId] の 2 つのフィールドから構成されます。</p> <p>同じ 1 つの標準コールに関連付けられるすべてのレコードは、同じグローバル コール ID が設定されます。</p> <p>注：Cisco Unified Communications Manager Release 5.x 以降のリリースでは、Cisco Unified Communications Manager が再起動されても GlobalCallId CDR フィールドの値は保持されます。Release 4.x 以前のリリースでは、GlobalCallId フィールドが時間ベースですが、このフィールドは、トラフィックが混雑した状況で再使用されます。この動作が原因で、お客様の課金アプリケーションに問題が生じたり、CMR と CDR の相関および電話会議と CDR の相関を行う CAR の機能に問題が発生することがあります。Release 5.x 以降のリリースでは、GlobalCallId が再設計されたため、このフィールドの一意の値が少なくとも特定の日数の間保持されます。前回使用された globalCallId_callId 値は、定期的に (x 回のコールごとに) ディスクに書き込まれるようになりました。この値は Cisco Unified Communications Manager の再起動後に取得され、新しい globalCallId_callId 値は、この数に x を足した値で始まります。</p> <p>デフォルト：このフィールドは常に設定されています。</p>
origLegCallIdentifier	正の整数	<p>このフィールドは、コールの発信元レグを示します。この値は、クラスタ内で一意であることに注意してください。コールのレグが複数のサブコール、つまり複数の CDR にわたって変化しない場合 (1 つのコール転送中であるのと同様)、この値は一定に維持されます。</p> <p>デフォルト：このフィールドは常に設定されています。</p>
dateTimeOrigination	整数	<p>このフィールドは、ユーザがオフフックにしたときの日付と時刻、または H.323 SETUP メッセージが着信コールとして受信されたときの日付と時刻を示します。時刻は UTC として保存されます。</p> <p>デフォルト：このフィールドは常に設定されています。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origNodeId	正の整数	このフィールドは、コールの発信元がそのコール時に登録されているサーバ (クラスタ内のノード) を示します。 デフォルト: このフィールドは常に設定されています。
origSpan	0、正の整数	ゲートウェイが発信元のコールの場合、このフィールドは、コールの発信元である T1、PRI、または BRI トランクの B チャネル番号を示します。ただし、FXS または FXO トランクが発信元の場合は 0 の値になります。 H.323 ゲートウェイの場合、スパン番号は不明のままになり、このフィールドには発信元のコール レッグ ID が格納されます。 ゲートウェイが発信元ではないコールの場合、この値は 0 になります。 デフォルト: このフィールドは、上記の規則に基づいて設定されます。
origIpAddr	整数	このフィールドは、コール シグナリングの発信元デバイスの v4 IP アドレスを示します。 Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは、電話機の v4 アドレスを示します。 PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを示します。 クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート Cisco Unified Communications Manager の v4 アドレスを示します。 IP アドレスの形式については、「 IP アドレス 」(P.3-5) で説明されています。 デフォルト: 0。発信元デバイスに v4 アドレスが存在しない場合、このフィールドは 0 になります。このフィールドは、上記の規則に基づいて設定されます。

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
callingPartyNumber	テキスト文字列	<p>このフィールドは、25 文字以下の数字文字列を示します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone が発信元のコールの場合、このフィールドは、使用されている回線の内線番号を示します。</p> <p>着信 H.323 コールの場合、このフィールドは、セットアップメッセージ内の発信者番号フィールドで受信された値を示します。このフィールドには、Cisco Unified Communications Manager に到達するまでに適用される、発信者番号に対するすべての変換（ゲートウェイで行われる変換など）が反映されます。</p> <p>サーバ コールの場合（Cisco Unified Communications Manager が発信者なしの半コールを発信する）、このフィールドは、空のままになる可能性があります。</p> <p>CallingPartyNumber には、SIP URI が格納される場合があります。</p> <p>デフォルト：このフィールドは、上記の規則に基づいて設定されます。</p>
callingPartyUnicodeLoginUserID	Unicode : UTF_8	<p>このフィールドは、発信側のログイン ユーザ ID を示します。このフィールドの形式には、UTF_8 が指定されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。ユーザ ID が存在しない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
origCause_location	0 ~ 15	<p>ISDN シグナリングリンク上で受信されるクリア原因の場合、このフィールドには、ISDN リリースメッセージ内で示されているロケーションフィールドが指定されます。</p> <p>Q.850 で有効な値については、「コール終了原因コード (P.6-2)」に示されています。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager によって内部的に生成されるクリア原因の場合、この値には 0 が指定されます。</p> <p>デフォルト：0</p>
origCause_value	0 ~ 129	<p>発信側によってクリアされるコールの場合、このフィールドにクリアの理由が反映されます。</p> <p>現在、Cisco Unified Communications Manager では、Q.850 コードおよびいくつかの Cisco Unified Communications Manager で定義されたコードが使用されています。それらについては、「コール終了原因コード (P.6-2)」に示されています。</p> <p>着信側によってクリアされるコールの場合、このフィールドに 0 が指定されます。</p> <p>Q.850 で規定されている標準値のほか、機能（転送/会議）によってコールが分割されるときは CDR が終了し、このフィールドに 393216 が設定されます。これは、このフィールドの独自の値を表します。</p> <p>デフォルト：0</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origPrecedenceLevel	0 ~ 4	<p>MLPP の場合、各コール レッグには優先レベルが含まれます。このフィールドは、元のレッグの優先レベルを表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先レベル 0 = フラッシュ オーバーライド/エグゼクティブ オーバーライド 優先レベル 1 = フラッシュ 優先レベル 2 = 即時 優先レベル 3 = 優先 優先レベル 4 = ルーチン <p>デフォルト : 4</p>
origMediaTransportAddress_IP	0、整数	<p>このフィールドは、コール用メディアの発信元デバイスの v4 IP アドレスを示します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは、電話機の v4 アドレスを示します。</p> <p>PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを示します。</p> <p>クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート電話機の v4 アドレスを示します。</p> <p>IP アドレスの形式については、「IP アドレス」(P.3-5) で説明されています。</p> <p>デフォルト : 0。メディアが確立されない場合またはアドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 になります。</p>
origMediaTransportAddress_Port	0、正の整数	<p>このフィールドは、[OrigMediaTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられている IP ポート番号を示します。</p> <p>デフォルト : 0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
origMediaCap_payloadCapability	0、正の整数	<p>このフィールドは、発信元がメディアの送信に使用するコーデック タイプを示します。</p> <p>現在、Cisco Unified Communications Manager は、ペイロード機能値として 0、1 ~ 16、18 ~ 20、25、32、33、81 ~ 86 を使用します。有効な値については、「コーデック タイプ」(P.6-1) に示されています。</p> <p>デフォルト : 0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
origMediaCap_maxFramesPerPacket	0、正の整数	<p>このフィールドは、発信側から送信されるパケットあたりのデータのミリ秒数を示します。このフィールドには一般に G.729 または G.711 コーデック用の 10、20、または 30 が設定されますが、他の非ゼロの値も保管される場合があります。</p> <p>デフォルト : 0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origMediaCap_g723BitRate	0	このフィールドは、Cisco Unified Communications Manager の現在のリリースでは使用されません。 デフォルト：このフィールドは 0 のままになります。
origVideoCap_Codec	0、 100 = H.261、 101 = H.263、 102 = Vioe	このフィールドは、発信元がビデオの送信に使用するコーデック タイプを示します (H.261、H.263、または Vioe)。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origVideoCap_Bandwidth	0、正の整数	このフィールドは、kbps の単位で測定された帯域幅を示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origVideoCap_Resolution	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16	このフィールドは、ビデオ解像度を示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origVideoTransportAddress_IP	0、整数	このフィールドは、コールの発信元デバイスの v4 IP アドレスを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合またはアドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origVideoTransportAddress_Port	0、正の整数	このフィールドは、[origVideoTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origRSVPAudioStat	0 ~ 5	このフィールドは、発信元から終端に至るまでの RSVP オーディオ予約のステータスを示します。 0：予約なし 1：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Failure 状態。 2：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Success 状態。 3：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。 4：RSVP Mid Call Failure Preempted 状態 (コール セットアップ後にプリエンプトされた)。 5：RSVP Mid Call Failure Lost Bandwidth 状態 (MLPP プリエンプション以外のすべてのコール中エラーを含む)。 デフォルト：0

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origRSVPVideoStat	0 ~ 5	<p>このフィールドは、発信元から終端に至るまでの RSVP ビデオ予約のステータスを示します。</p> <p>0 : 予約なし</p> <p>1 : コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Failure 状態。</p> <p>2 : コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Success 状態。</p> <p>3 : コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。</p> <p>4 : RSVP MID Call Failure Preempted 状態 (コール セットアップ後にプリエンプトされた)。</p> <p>5 : RSVP MID Call Failure Lost Bandwidth 状態 (MLPP プリエンプション以外のすべてのコール中エラーを含む)。</p> <p>デフォルト : 0</p>
destLegCallIdentifier	0、正の整数	<p>このフィールドは、コールの終端レグを示します。この値は、クラスタ内で一意になります。コールのレグが複数のサブコールおよび (結果として) 複数の CDR にわたって変化しない場合 (1 つのコール転送中であるのと同様)、この値は一定に維持されます。</p> <p>デフォルト : 0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
destNodeId	0、正の整数	<p>このフィールドは、コールの終端側がそのコール時に登録されている場所 (クラスタ内のノード) を示します。</p> <p>デフォルト : 0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
destSpan	0、正の整数	<p>ゲートウェイが宛先のコールの場合、このフィールドは、コールの宛先である T1、PRI、または BRI トランクの B チャンネル番号を示します。ただし、FXS または FXO トランクが宛先の場合は 0 の値になります。</p> <p>H.323 ゲートウェイの場合、スパン番号は不明のままになり、このフィールドには宛先のコール レグ ID が格納されます。</p> <p>ゲートウェイで終端しないコールの場合、この値には 0 が指定されます。</p> <p>デフォルト : 0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
destIpAddr	0、整数	<p>このフィールドは、コール シグナリングの終端デバイスの v4 IP アドレスを示します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは、電話機の v4 アドレスを示します。</p> <p>PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを示します。</p> <p>クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート Cisco Unified Communications Manager の v4 アドレスを示します。</p> <p>IP アドレスの形式については、「IP アドレス」(P.3-5) で説明されています。</p> <p>デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。このデバイスに v4 アドレスが存在しない場合、このフィールドは 0 になります。</p>
originalCalledPartyNumber	テキスト文字列	<p>このフィールドは、コール転送が行われる以前の、元のコールの提供先番号を示します。トランスレーションルールが設定されている場合、この番号には変換適用後の着信者番号が反映されます。</p> <p>このフィールドには、48 文字以下の数字文字列が使用され、電話番号または SIP URL が表現されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。宛先に到達できない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
finalCalledPartyNumber	テキスト文字列	<p>このフィールドは、コールが応答されるか、リングアウトされるまでの、コールの最終的な提供先番号を示します。転送が行われない場合、この番号は originalCalledPartyNumber と同じ番号を示します。</p> <p>会議ブリッジへのコールの場合、このフィールドには、会議ブリッジの実際の ID が格納されます。これは、英数字の文字列になります (b0019901001 など)。</p> <p>このフィールドには、48 文字以下の数字文字列が使用され、電話番号または SIP URL が表現されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。宛先に到達できない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
finalCalledPartyUnicodeLoginUserID	Unicode : UTF_8	<p>最終着信者のフィールドは、ログイン ユーザ ID を示します。このフィールドの形式には、UTF_8 が指定されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。ユーザ ID が存在しない場合、このフィールドは空のままになります。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
destCause_location	0 ~ 15	<p>ISDN シグナリング リンク上で受信されるクリア原因の場合、ISDN リリース メッセージでこのロケーションフィールドが示されます。Q.850 で有効な値については、「コール終了原因コード」(P.6-2) に示されています。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager によって内部的に生成されるクリア原因の場合、この値は 0 になります。</p> <p>デフォルト : 0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
destCause_value	0 ~ 129	<p>宛先側がクリアしたコールの場合、このフィールドにクリアの理由が反映されます。Q.850 で有効な値については、「コール終了原因コード」(P.6-2) に示されています。</p> <p>発信側がクリアするコールの場合、このフィールドは 0 のままになります。</p> <p>Q.850 で規定されている標準値のほか、機能 (転送/会議) によってコールが分割されるときは CDR が終了し、このフィールドに 393216 が設定されます。これは、このフィールドの独自の値を表します。</p> <p>デフォルト : 0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
destPrecedenceLevel	0 ~ 4	<p>MLPP の場合、各コール レッグには優先レベルが設定されます。このフィールドは、宛先レッグの優先レベルを表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先レベル 0 = フラッシュ オーバーライド • 優先レベル 1 = フラッシュ • 優先レベル 2 = 即時 • 優先レベル 3 = 優先 • 優先レベル 4 = ルーチン <p>デフォルト : 4</p>
destMediaTransportAddress_IP	0、整数	<p>このフィールドは、コール用メディアの終端デバイスの v4 IP アドレスを示します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは、電話機の v4 アドレスを示します。</p> <p>PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを示します。</p> <p>クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート電話機の v4 アドレスを示します。</p> <p>IP アドレスの形式については、「IP アドレス」(P.3-5) で説明されています。</p> <p>デフォルト : 0。宛先に到達できない場合または宛先の IP アドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
destMediaTransportAddress_Port	0、正の整数	このフィールドは、[DestMediaTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられている IP ポート番号を示します。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destMediaCap_payloadCapability	0、正の整数	このフィールドは、着信側がメディアの送信に使用するコーデック タイプを示します。 現在、Cisco Unified Communications Manager は、ペイロード機能値として 0、1 ~ 16、18 ~ 20、25、32、33、81 ~ 86 を使用します。有効な値については、「 コーデック タイプ 」(P.6-1) に示されています。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destMediaCap_maxFramesPerPacket	0、正の整数	このフィールドは、コールの着信側から送信されるパケットあたりのデータのミリ秒数を示します。このフィールドには一般に G.729 または G.711 コーデック用の 10、20、または 30 が設定されますが、他の非ゼロの値も保管される場合があります。 メディアが確立されなければ、このフィールドに 0 が指定される可能性があります。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destMediaCap_g723BitRate	0	このフィールドは、Cisco Unified Communications Manager の現在のリリースでは使用されません。 デフォルト：このフィールドは 0 のままになります。
destVideoCap_Codec	0、 100 = H.261、 101 = H.263、 102 = Vioe	このフィールドは、着信側がビデオの送信に使用するコーデック タイプを示します (H.261、H.263、または Vioe)。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destVideoCap_Bandwidth	0、正の整数	このフィールドは帯域幅を示し、kbps の単位で測定されます。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destVideoCap_Resolution	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16	このフィールドは、ビデオ解像度を示します。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
destVideoTransportAddress_IP	0、整数	このフィールドは、コールの宛先デバイスの v4 IP アドレスを示します。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合または宛先の IP アドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destVideoTransportAddress_Port	0、正の整数	このフィールドは、[destVideoTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを示します。 デフォルト：0。宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destRSVPAudioStat	0 ~ 5	このフィールドは、終端から発信元に至るまでの RSVP オーディオ予約のステータスを示します。 0：予約なし 1：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Failure 状態。 2：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Success 状態。 3：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。 4：RSVP Mid Call Failure Preempted 状態 (コール セットアップ後にプリエンプトされた)。 5：RSVP Mid Call Failure Lost Bandwidth 状態 (MLPP プリエンプション以外のすべてのコール中エラーを含む)。 デフォルト：0
destRSVPVideoStat	0 ~ 5	このフィールドは、終端から発信元に至るまでの RSVP ビデオ予約のステータスを示します。 0：予約なし 1：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Failure 状態。 2：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Success 状態。 3：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。 4：RSVP Mid Call Failure Preempted 状態 (コール セットアップ後にプリエンプトされた)。 5：RSVP Mid Call Failure Lost Bandwidth 状態 (MLPP プリエンプション以外のすべてのコール中エラーを含む)。 デフォルト：0

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
dateTimeConnect	0、整数	このフィールドは、コール接続時の日付と時刻を示します。時刻は UTC として保存されます。コールに応答がない場合、この値は 0 になります。 デフォルト：0。コールが接続しない場合、このフィールドは 0 のままになります。
dateTimeDisconnect	整数	このフィールドは、コールクリア時の日付と時刻を示します。コールが接続されなかった場合でも、このフィールドは設定されます。時刻は UTC として保存されます。 デフォルト：このフィールドは常に設定されています。
lastRedirectDn	テキスト文字列	このフィールドは、25 文字以下の数字文字列を示します。この数字文字列には、電話番号または SIP URL が含まれます。 転送されたコールの場合、このフィールドは、コールが最終的な宛先に到達する最後のホップの 1 つ前の電話番号を示します。ホップが 1 回しか起こらない場合、この番号は [OriginalCalledPartyNumber] と一致します。 転送されないコールの場合、このフィールドは、[OriginalCalledPartyNumber] と [FinalCalledPartyNumber] に一致します。 会議ブリッジへのコールの場合、このフィールドには、会議ブリッジの実際の ID が格納されます。これは、英数字の文字列になります (b0019901001 など)。 デフォルト：空の文字列「」。コールがリダイレクトされない場合、このフィールドは空のままになります。
pkid	テキスト文字列	このフィールドは、データベースが各行を一意に識別するために内部で使用するテキスト文字列を示します。このテキスト文字列は、コール自体には意味がありません。 デフォルト：このフィールドには一意の ID が常に設定されます。
originalCalledPartyNumberPartition	テキスト文字列	Cisco Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone がパーティションを別々にすることでサポートされるため、このフィールドでは、[OriginalCalledPartyNumber] フィールドに関連付けられているパーティション名を一意に示します。 H.323 ゲートウェイ経由で発信するコールの場合、このフィールドは、そのゲートウェイを指すルートパターンに関連付けられているパーティション名を一意に示します。 デフォルト：空の文字列「」。元の着信者にパーティションが設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
callingPartyNumberPartition	テキスト文字列	<p>Cisco Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone がパーティションを別々にすることでサポートされるため、このフィールドでは、[CallingPartyNumber] フィールドに関連付けられているパーティション名を一意に示します。</p> <p>H.323 ゲートウェイ経由で着信するコールの場合、このフィールドは空白のままになります。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。元の着信者にパーティションが設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
finalCalledPartyNumberPartition	テキスト文字列	<p>Cisco Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone がパーティションを別々にすることでサポートされるため、このフィールドでは、[FinalCalledPartyNumber] フィールドに関連付けられているパーティション名を一意に示します。</p> <p>H.323 ゲートウェイ経由で発信するコールの場合、このフィールドは、そのゲートウェイを指すルートパターンに関連付けられているパーティション名を一意に示します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。最終着信者にパーティションが設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
lastRedirectDnPartition	テキスト文字列	<p>Cisco Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone がパーティションを別々にすることでサポートされるため、このフィールドでは、[LastRedirectDn] フィールドに関連付けられているパーティション名を一意に示します。</p> <p>H.323 ゲートウェイ経由で発信するコールの場合、このフィールドは、そのゲートウェイを指すルートパターンに関連付けられているパーティション名を示します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。最後のリダイレクト元にパーティションが設定されていない場合またはコールがリダイレクトされなかった場合、このフィールドは空のままになります。</p>
duration	0、正の整数	<p>このフィールドは、接続時刻と切断時刻の差を示します。このフィールドには、コールの接続状態が維持されている時間が秒単位で指定されます。コールが接続しない場合、またはコールの接続時間が 1 秒未満の場合、このフィールドは 0 のままになります。</p> <p>デフォルト：0</p>
origDeviceName	テキスト文字列	<p>このフィールドは、発信元デバイスの名前を識別するテキスト文字列を示します。</p> <p>デフォルト：このフィールドは常に設定されています。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
destDeviceName	テキスト文字列	このフィールドは、宛先デバイスの名前を識別するテキスト文字列を示します。 デフォルト：空の文字列「」。元のデバイスに名前が設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。
origCallTerminationOnBehalfOf	0、正の整数	このフィールドは、発信元が停止した原因を識別するコードを示します。 たとえば、コールの発信元によって電話が切られると、OnBehalfOf コードは、デバイスを表す「12」になります。転送が原因でコールが停止すると、OnBehalfOf コードは、転送を表す「10」になります。 コードのリストについては、「 関連項目 」(P.5-22)を参照してください。このリリースでは、新しい OnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0
destCallTerminationOnBehalfOf	0、正の整数	このフィールドは、宛先が停止した原因を識別するコードを示します。 たとえば、コールの発信元によって電話が切られると、OnBehalfOf コードは、デバイスを表す「12」になります。転送が原因でコールが停止すると、OnBehalfOf コードは、転送を表す「10」になります。 コードのリストについては、「 関連項目 」(P.5-22)を参照してください。このリリースでは、新しい OnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0
origCalledPartyRedirectOnBehalfOf	0、正の整数	このフィールドは、元の着信者がリダイレクトされた理由を識別するコードを示します。 たとえば、元の着信者が会議のためにリダイレクトされた場合、OnBehalfOf コードは「4」を示します。 コードのリストについては、「 関連項目 」(P.5-22)を参照してください。このリリースでは、新しい OnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0
lastRedirectRedirectOnBehalfOf	0、整数	このフィールドは、最後のリダイレクト者がリダイレクトされた理由を識別するコードを示します。 たとえば、最後のリダイレクト者が会議のためにリダイレクトされた場合、OnBehalfOf コードは「4」を示します。 コードのリストについては、「 関連項目 」(P.5-22)を参照してください。このリリースでは、新しい OnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origCalledPartyRedirectReason	0、整数	このフィールドは、元の着信者がリダイレクトされた理由を示します。 コードの完全なリストについては、「 リダイレクト理由コード 」(P.6-6) を参照してください。 デフォルト：0
lastRedirectRedirectReason	0、整数	このフィールドは、リダイレクションの最後のリダイレクト理由を示します。 コードの完全なリストについては、「 リダイレクト理由コード 」(P.6-6) を参照してください。 デフォルト：0
destConversationID	0、整数	このフィールドは、電話会議の参加者を識別するために使用される固有識別子を示します。 会議チェーン シナリオの場合、[origConversationID] フィールドと [destConversationID] フィールドにより、連結されている会議が識別されます。 デフォルト：0
globalCallId_ClusterId	テキスト文字列	このフィールドは、Cisco Unified Communications Manager のクラスタを識別する一意の ID を示します。 このフィールドは、インストール時に生成され、Cisco Unified Communications Manager からは使用されません。 [globalCallId_ClusterId] + [globalCallId_CMId] + [globalCallId_CallId] により、この一意のキーは構成されます。 デフォルト：このフィールドは常に設定されています。
joinOnBehalfOf	0、整数	このフィールドは、結合の理由を識別するコードを示します。 たとえば、転送のために結合が行われると、OnBehalfOf コードは「10」になります。 コードのリストについては、「 関連項目 」(P.5-22) を参照してください。 デフォルト：0
Comment	テキスト文字列	各機能は、このフィールドを利用してテキストを CDR に追加できます。このテキストにより、コールに関する詳細情報が記述されます。 たとえば、次のフィールドは、迷惑コールであることを示すフラグです。 タグ：CallFlag 値：MALICIOUS デフォルト：空の文字列「」。
authCodeDescription	テキスト文字列	このフィールドは、FAC の説明を示します。 デフォルト：空の文字列「」またはヌル。

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
authorizationLevel	0、整数	このフィールドは、FAC のレベルを示します。 デフォルト：0
clientMatterCode	テキスト文字列	システムがコールを拡張する前に、ユーザは、アカウントコードや課金コードをコールに割り当てるために使用されるクライアント識別コードを入力します。このフィールドは、そのクライアント識別コードを示します。 デフォルト：空の文字列「」またはヌル。
origDTMFMethod	0、正の整数	このフィールドは、発信元が使用する DTMF 方式を示します。 0：DTMF の指定なし：任意の一致する DTMF を使用します。 1：OOB：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが OOB をサポートしていれば、それを使用します。 2：2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが RFC2833 をサポートしていれば、それを使用します。 3：OOB と 2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが KPML と RFC2833 の両方をサポートしていれば、それらの両方を使用します。 4：不明 デフォルト：0 (初期設定なし)
destDTMFMethod	0、正の整数	このフィールドは、宛先が使用する DTMF 方式を示します。 0：DTMF の指定なし：任意の一致する DTMF を使用します。 1：OOB：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが OOB をサポートしていれば、それを使用します。 2：2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが RFC2833 をサポートしていれば、それを使用します。 3：OOB と 2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが KPML と RFC2833 の両方をサポートしていれば、それらの両方を使用します。 4：不明。 デフォルト：0 (初期設定なし)
callSecuredStatus	0、正の整数	このフィールドは、コール中に到達した最高のセキュリティステータスを示します。たとえば、初期状態でセキュリティ保護されていないコールが、後でセキュリティ保護された状態に変化すると、コールのステータス値がたびたび変化したとしても、CDR には「セキュリティ保護」を表す 1 が格納されます。 0：セキュリティ保護されていない 1：認証されている (暗号化なし) 2：セキュリティ保護されている (暗号化あり) デフォルト：0 (セキュリティ保護されていない)

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origConversationID	整数	このフィールドは、コールの発信元レックに関連付けられている会議 ID を示します。ほとんどの場合、このフィールドは 0 になります。 会議チェーン シナリオの場合、[origConversationID] フィールドと [destConversationID] フィールドにより、連結されている会議が識別されます。 デフォルト：0
origMediaCap_Bandwidth	0、正の整数	このフィールドは、コールの発信元で使用されるメディア帯域幅を示します。 デフォルト：0
destMediaCap_Bandwidth	0、正の整数	このフィールドは、コールの宛先で使用されるメディア帯域幅を示します。 デフォルト：0
authorizationCodeValue	テキスト文字列	このフィールドは、コールに関連付けられている強制承認コード (FAC) を示します。 デフォルト：空の文字列「」またはヌル。
outpulsedCallingPartyNumber	テキスト文字列	このフィールドは、50 文字以下の英数字文字列で構成されます。 発信者番号は、デバイスからアウトパルスされます。このフィールドは、デバイスにおいて正規化またはローカリゼーションが行われる場合にのみ設定されます。 デフォルト：空の文字列「」またはヌル。
outpulsedCalledPartyNumber	テキスト文字列	このフィールドは、50 文字以下の英数字文字列で構成されます。 着信者番号は、デバイスからアウトパルスされます。このフィールドは、デバイスにおいて正規化またはローカリゼーションが行われる場合にのみ設定されます。 デフォルト：空の文字列「」またはヌル。

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origIpv4v6Addr	テキスト文字列	<p>このフィールドは、64 文字以下の英数字文字列で構成されます。</p> <p>このフィールドは、コール シグナリングの発信元デバイスの IP アドレスを示します。このフィールドは、コールに使用される IP アドレスのタイプに応じて IPv4 形式と IPv6 形式のいずれかになります。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは Cisco Unified IP Phone のアドレスです。PSTN コールの場合、このフィールドはゲートウェイのアドレスです。クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート Cisco Unified Communications Manager のアドレスです。</p> <p>IP アドレスは、ドット付き 10 進表記またはコロン区切り 16 進表記のいずれかになります。</p> <p>デフォルト：デバイスによって報告された、またはメディア ネゴシエーション後のコールに使用された、発信元デバイスの IP アドレス。</p>
destIpv4v6Addr	テキスト文字列	<p>このフィールドは、64 文字以下の英数字文字列で構成されます。</p> <p>このフィールドは、コール シグナリングの終端デバイスの IP アドレスを示します。このフィールドは、コールに使用される IP アドレスのタイプに応じて IPv4 形式と IPv6 形式のいずれかになります。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは Cisco Unified IP Phone のアドレスです。PSTN コールの場合、このフィールドはゲートウェイのアドレスです。クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート Cisco Unified Communications Manager のアドレスです。</p> <p>IP アドレスは、ドット付き 10 進表記またはコロン区切り 16 進表記のいずれかになります。</p> <p>デフォルト：空の文字列「 」またはヌル。宛先に到達しない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
origVideoCap_Codec_Channel2	0、 100 = H.261、 101 = H.263、 102 = Vico、 103 = H.264、	<p>このフィールドは、発信元が 2 番目のビデオ チャネルのビデオを送信するのに使用するコーデック タイプ (H.261、H.263、Vico、H.264) を示します。</p> <p>デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。</p>
origVideoCap_Bandwidth_Channel2	0、正の整数	<p>このフィールドは、2 番目のビデオ チャネルに対して kbps の単位で測定された帯域幅を示します。</p> <p>デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。</p>

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origVideoCap_Resolution_Channel2	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16	このフィールドは、2 番目のビデオ チャンネルのビデオ解像度を示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
origVideoTransportAddress_IP_Channel2	0、整数	このフィールドは、2 番目のビデオ チャンネル用コールの発信元デバイスの v4 IP アドレスを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
origVideoTransportAddress_Port_Channel2	0、正の整数	このフィールドは、2 番目のビデオ チャンネル用に [origH239VideoTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
origVideoChannel_Role_Channel2	0 = 表示ロール、 1 = ライブロール、 正の整数	このフィールドは、発信元デバイスの H.239 ビデオ チャンネル ロールを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
destVideoCap_Codec_Channel2	0、 100 = H.261 101 = H.263 102 = Vieo 103 = H.265	このフィールドは、着信側が 2 番目のビデオ チャンネルのビデオを送信するのに使用するコーデック タイプ (H.261、H.263、Vieo、H.264) を示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
destVideoCap_Bandwidth_Channel2	0、正の整数	このフィールドは、2 番目のビデオ チャンネルに対して kbps の単位で測定された帯域幅を示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
destVideoCap_Resolution_Channel2	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16	このフィールドは、2 番目のビデオ チャンネルのビデオ解像度を示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
destVideoTransportAddress_IP_Channel2	0、整数	このフィールドは、コールの宛先デバイスの v4 IP アドレスを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
destVideoTransportAddress_Port_Channel2	0、正の整数	このフィールドは、[destH239VideoTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
destVideoChannel_Role_Channel2	0 = 表示ロール、 1 = ライブロール、 正の整数	このフィールドは、コールを受信するデバイスの H.239 ビデオ チャンネル ロールを示します。 デフォルト：0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
IncomingProtocolID	0 = 不明、 1 = SIP、 2 = H323、 3 = CTI/JTAPI、 4 = Q931、 整数	このフィールドは、コールパス内で Cisco Unified CM とアップストリーム音声製品との間で使用されるプロトコル (SIP、H.323、CTI/JTAPI、または Q.931) を示します。
IncomingProtocolCallRef	Varchar(32)	このフィールドは、プロトコル用のグローバルに一意なコール参照 ID を示します。この値は、アップストリーム音声製品から受信されます。この値は英数字であり、32 文字を超えた部分は切り捨てられます。
OutgoingProtocolID	0 = 不明、 1 = SIP、 2 = H323、 3 = CTI/JTAPI、 4 = Q931、 整数	このフィールドは、コールパス内で Cisco Unified CM とダウンストリーム音声製品との間で使用されるプロトコル (SIP、H.323、CTI/JTAPI、または Q.931) を示します。
OutgoingProtocolCallRef	Varchar(32)	このフィールドは、プロトコル用のグローバルに一意なコール参照 ID を示します。この値は、次のダウンストリーム音声製品に渡されます。この値は英数字であり、32 文字を超えた部分は切り捨てられます。
currentRoutingReason	正の整数	このフィールドは、外部コール制御機能で使用されるものであり、現在のコールについてコールが代行受信された原因を示します。原因のリストについては、「 外部コール制御のルーティング原因値 」(P.5-21) を参照してください。 デフォルト値は 0 です。

表 5-1 CDR フィールドの説明 (続き)

フィールド名	値の範囲	説明
origRoutingReason	正の整数	このフィールドは、外部コール制御機能で使用されるものであり、初めてコールが代行受信された原因を示します。原因のリストについては、「外部コール制御のルーティング原因値」(P.5-21)を参照してください。 デフォルト値は 0 です。
lastRedirectingRoutingReason	正の整数	このフィールドは、外部コール制御機能で使用されるものであり、最後にコールが代行受信された原因を示します。原因のリストについては、「外部コール制御のルーティング原因値」(P.5-21)を参照してください。 デフォルト：空の文字列。
huntPilotDN	テキスト文字列	このフィールドは、コールをルーティングするハントパイロット DN を示します。 デフォルト：空の文字列。
huntPilotPartition	テキスト文字列	このフィールドは、ハントパイロット DN のパーティションを示します。 デフォルト：空の文字列。
calledPartyPatternUsage	正の整数	このフィールドは、着信者のパターンを示します。 デフォルト値は 5 (PATTERN_ROUTE) です。 <ul style="list-style-type: none"> [huntPilotDN] が設定されている場合は、huntPilotDN フィールドの値をハントパイロットとして使用します。 [huntPilotDN] を使用できない場合は、CDR テーブル内でパターンの使い方 (7=PATTERN_HUNT_PILOT)を確認してコールタイプを特定します。このコールがハントリストコールの場合は、[finalCalledPartyNumber] を [huntPilotDN] として使用します。

外部コール制御のルーティング原因値

Cisco Unified Communications Manager では、外部コール制御機能がサポートされます。この機能では、別建てルーティングサーバで、Cisco Unified Routing Rules Interface を使用して Cisco Unified Communications Manager のコールルーティングを決定できます。外部コール制御の設定に際して、Cisco Unified Communications Manager は、発信側および着信側の情報が入ったルート要求を別建てルーティングサーバに発行します。別建てルーティングサーバは、要求を受信し、適切なビジネスロジックを適用した後、コールのルーティング方法と適用すべきその他のコール処理方法を Cisco Unified Communications Manager に指示するルート応答を返します。

別建てルーティングサーバは、コールの許可/転送/拒否、発信側および着信側の情報の変更、発信者に対する音声案内、別建てのボイスメールサーバと IVR サーバが発信側/着信側の情報を適切に解釈できるようにするためのコール履歴のリセット、コールが転送または拒否された理由を示す理由コードの記録を Cisco Unified Communications Manager に指示できます。

表 5-2 に、[currentRoutingReason]、[origRoutingReason]、または [lastRedirectingRoutingReason] フィールドに示される可能性がある原因を示します。

表 5-2 外部コール制御のルーティング原因値

フィールド値	原因	説明
0	PDPDecision_NONE	この値は、ルーティング サーバが Cisco Unified Communications Manager に対してルーティング 指令を返さなかったことを示します。
1	PDPDecision_Allow_Fulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールを許可したことを示します。
2	PDPDecision_Allow_Unfulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールを拒否したことを示します。
3	PDPDecision_Divert_Fulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールを迂回させたことを示します。
4	PDPDecision_Divert_Unfulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールの迂回に失敗したことを示 します。
5	PDPDecision_Forward_Fulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールを転送したことを示します。
6	PDPDecision_Forward_Unfulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールの転送に失敗したことを示 します。
7	PDPDecision_Reject_Fulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールを拒否したことを示します。
8	PDPDecision_Reject_Unfulfilled	この値は、Cisco Unified Communications Manager がコールの拒否に失敗したことを示 します。

関連項目

- [第 4 章「CDR の例」](#)
- [第 8 章「Cisco 呼管理レコード フィールドの説明」](#)

関連資料

次のマニュアルには、CDR に関連した詳細情報が記載されています。

- 『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』
- 『CDR Analysis and Reporting Administration Guide』